



地域に向けてひとこと

地すべり、地形・地質に関する質問がございましたら、お気軽にご相談ください。

渡邊 達也

Tatsuya Watanabe
准教授 ・ 博士（理学）

地域に向けてできること

訪問講義



気候変動による北極域の地形変化と土砂災害

研究室見学



科学・ものづくり教室



技術相談

地すべり、地形・地質に関する内容
地盤構造探査

研究テーマ

寒冷地特有の斜面における災害危険度評価

研究分野

●環境

●社会基盤

研究キーワード

地すべり、地質、物理探査、リモートセンシング

SDGs

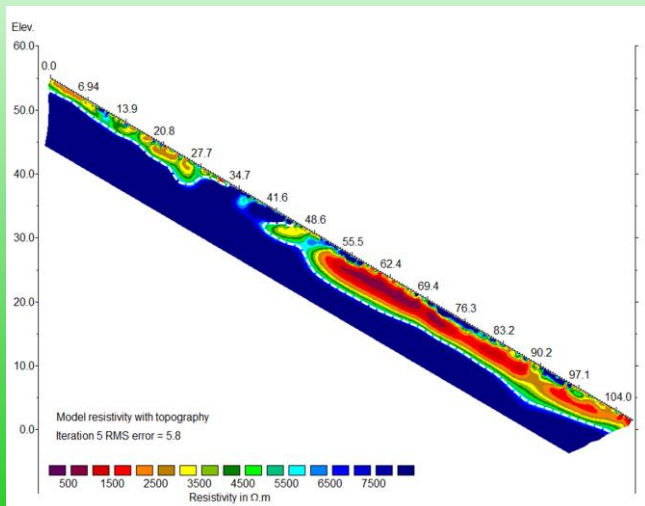


概要

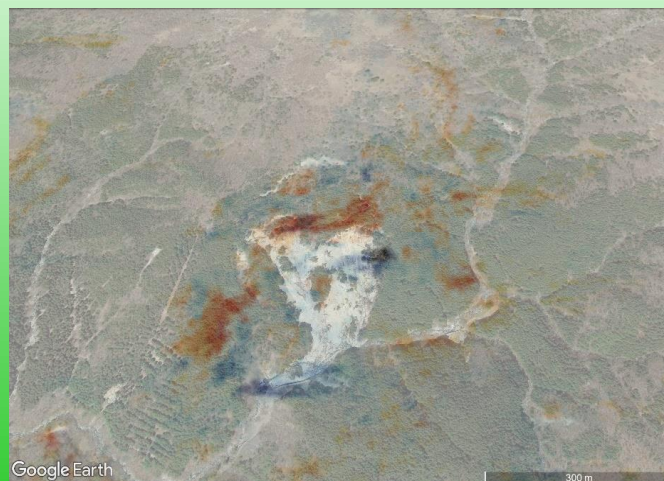
寒冷地の斜面では、凍結融解の繰り返しによる土砂移動で周氷河堆積物が形成されます。近年、北極域では、凍土融解や豪雨による周氷河堆積物の崩壊が増加しています。現在の北海道は周氷河堆積物が形成される気候ではありませんが、最終氷期に形成された周氷河堆積物の斜面が各地に残っています。今後、豪雨により脆弱な周氷河堆積物が崩壊すると、甚大な災害をもたらす危険性があります。このような寒冷地に潜在する危険斜面を抽出すべく、地形・地質調査、物理探査、リモートセンシング等を駆使して研究に取り組んでいます。

アピールポイント

- ・国内外の寒冷地斜面での調査経験
- ・新たな災害リスク箇所の抽出



電気探査による斜面構造イメージング



衛星データによる斜面変動の抽出